

協議会の目標：迅速かつ確実な避難を可能にする地域防災力の向上（～概ねR3）

■第1回減災対策協議会で決定した主な取組とその状況について

項目	実施年度	備考（平鹿管内の状況）
・県と市町村のホットラインの構築	H29～	構築済み
・避難勧告等の発令に着目したタイムラインの策定	H29～	策定済み（横手川）
・避難情報伝達手段の検討、整備	H29～	横手市で実施
・要配慮者利用施設における避難確保計画作成に向けた支援	H29～	継続実施
・防災教育（出前講座、自主防災組織に対する研修、避難訓練）	H29～	避難訓練等を継続 （R1 横手市寺内・鬼嵐地区）
・実況雨量に基づく簡易水位予測ツールの活用	H29～	主に各地域振興局で活用 （平鹿管内では、未実施）
・水位計、雨量計の配置見直しや増設	H30～	8基増設（平鹿危機管理型） R1運用開始
・水害リスクの高い箇所の合同巡視	H30～	継続実施（横手川他）
・水位周知河川以外の河川の浸水実績の把握及び周知	H30～	県より市町村へ提供 （横手市 H29上溝川）
・最大規模の降雨に対する洪水浸水想定区域の公表	H30～	H31.3.22 横手川 （R1.11.29美の国秋田ネットで公表）
・新たな浸水想定に基づくハザードマップの作成	H31～	随時
・水位周知河川の追加	R2～	（平鹿管内）R4以降 上溝川

■その他の取組、協議事項

項目	実施時期	備考（平鹿管内の状況）
平成29年7月、8月豪雨被害状況の確認	H30	
市町村防災担当者アンケート結果共有（H29.7月豪雨直後）	H29、H30	H29アンケート H30結果検討
「非水位周知河川」における減災対策への取り組み	H30～	
緊急行動計画の改定への対応（水防災意識社会の再構築）	R1～	土砂災害対策を追加
避難確保計画の作成支援の状況	R1～	国の支援を活用
洪水浸水想定区域図、土砂災害警戒区域の指定状況	R1～	ホームページで公表
危機管理型水位計の運用開始、簡易河川監視カメラの設置	R1～	かろ3基を新設（横手川） R2運用開始
SNSによる秋田版災害情報発信事業について（県総合防災課）	R1～	R1試行運用 R2本格運用

横手市 避難勧告の発令等に着目した 県管理河川タイムライン(防災行動計画)横手川

※避難勧告等に関するガイドライン(内閣府:平成29年1月)、タイムライン(防災行動計画)策定・活用指針(国土交通省:平成28年8月)を参考に作成。
※豪雨に対応したものである。時間と対応項目は「想定」で記載。状況変化に応じた臨機な行動が必要。

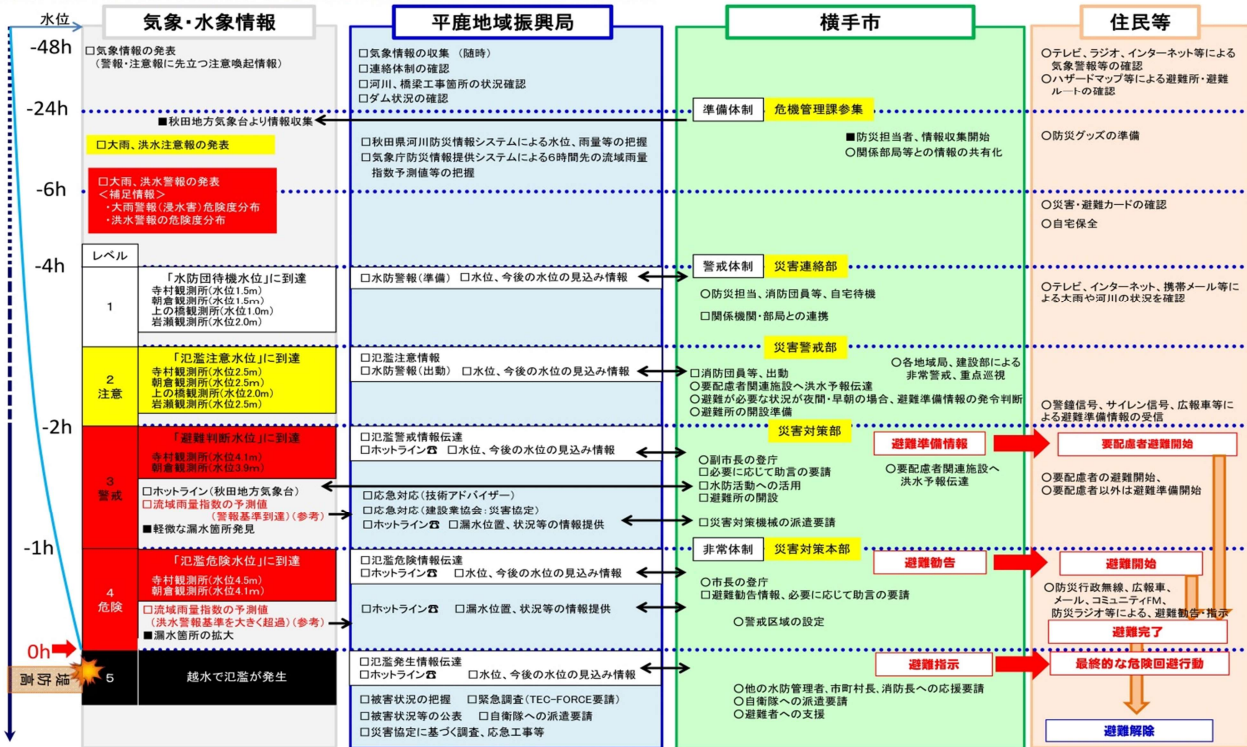


図1 平鹿管内タイムライン (横手川)



図2 危機管理型水位計(横手川・本郷)



図3 河川監視カメラ(横手川・上の橋)

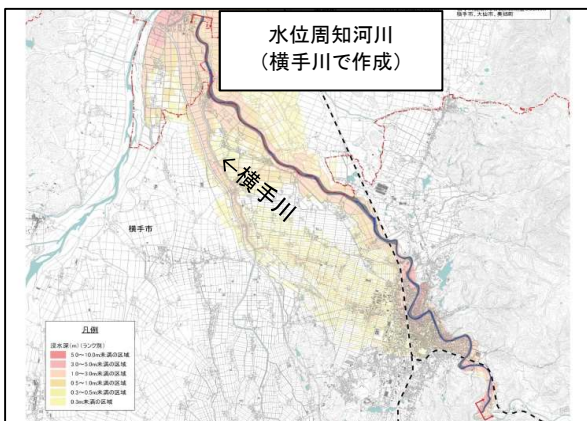


図4 想定最大規模降雨の浸水想定区域図



図5 県と市町村の合同巡視